

『新・レッスンプランの作り方』



“アツと言う間の研修でした、楽しかったです”・・・こんな受講者からの評価は最高です。
十分に集中でき、かつ、楽しく研修に参加できたということでしょう。
そのためには、研修全体のカリキュラム設計も重要ですが、個々のセッションを
どのように展開するのも講師としての腕の見せ所だと言えます。

【内容】

今回は、実際に「中堅社員のビジネスコミュニケーション研修カリキュラム」というテーマのカリキュラム作成をグループに分かれて行ってもらいました。

ボブ・パイクの「90/20/8の法則」をベースにどう展開していくのかを意識し、アレンジを加えながら楽しく取り組まれていたように感じました。

「受講者に積極的に参加し、集中して理解を深める時間にしてもらうために、時には項目を減らしてレッスンプランを作る勇気も重要」という稲田講師からのアドバイスに、参加者のみなさんは刺激を受けられた様子でした。

設計のフレームワーク ボブ・パイクの「90/20/8の法則」

1. 1セッション90分を基本に考える。
2. 最長20分を目途に展開を変える。
3. 解説時には質問や振り返りを8分以内毎に行う。

